（様式1）

| 学校番号 | 65 | 学校名 | 茨城県立竹園高等学校 |
|---|---|---|---|

# 令和8年度道徳教育全体計画

## 諸法規

日本国憲法
改正教育基本法
学校教育法

学習指導要領
本県教育目標
学校教育指導方針

## 校訓

自律　　進取　　友愛

## 学校の教育目標

未来においてよりよい社会のつくり手の育成を図るため、以下の項目を重点とした学校づくりを行う。

## 生徒の実態

・概ね基本的生活習慣を身につけている。
・約8割の生徒が部活動に加入し、時間の使い方を工夫して、学業と部活動の両立を図っている。
・ほぼ全員が四年制大学への進学を希望している。
・基礎学力が定着している生徒が多い一方で、学習面で自信を失っている生徒が一定数存在する。
・主体的に行動する態度の不足や人間関係構築力の弱さが見られる。

## 保護者の願い

・確かな学力を身につけ、より高い進路の実現を望む。
・自律の精神、相手を尊重する心情や協調性を身につけ、人間的成長を望む。

## 道徳教育重点目標

社会と自己の関わりを考え、自己肯定感と自己有用感の高い自律した生徒の育成を図る。
自ら問を立て課題解決のために進取する生徒の育成を図る。
異文化に触れ友愛の心を育み、協働の喜びを感得できる生徒の育成を図る。

## 地域の実態

本校は研究学園都市のほぼ中央に位置しており、周囲には筑波大学をはじめ、数々の研究機関や文化施設があり、恵まれた教育環境が生徒の学習に大きな影響を与えている。

## 各教科・科目

| | |
|---|---|
| 国語 | 豊かな言語感覚を養い、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。 |
| 地歴 | 歴史・文化を理解し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。 |
| 数学 | 論理的思考力、想像力及び直感力などの創造性を培う。 |
| 理科 | 自然に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育てる。 |
| 保体 | 健康の保持・増進のための実践力と体力の向上を図る。 |
| 芸術 | 感性を高め、豊かな心情を養い、生活を豊かなものにする。 |
| 外国語 | 国際理解や分解に愛する理解を深め、国際感覚や国際協調の精神を育成するとともに、コミュニケーション能力を高める。 |
| 家庭 | 家族・家庭や社会の意義を理解し、男女が協力して社会を築く実践的態度を育てる。 |
| 情報 | 情報モラルの必要性や情報に対する責任を踏まえ、主体的に情報を選択・処理・発信できる能力を養う。 |
| 総合的な探究の時間 | ・探Q基礎を通して自己と社会の関りについて探る。<br>・各種学校行事および「道徳」やHR活動を通して、クラスの団結を促し、相手を尊重する心や協力しあう姿勢を育むとともに、規範意識を高める。 |
| 専門 | |

## 特別活動

### ホームルーム活動

「道徳プラス」を実施し、討議型・協働型の活動をとおして道徳的判断力・実践意欲を身に付ける。教科横断型の探究活動等を通して、他を思いやることのできる豊かな人間性を涵養していく。

【学校行事】文化祭やクラスマッチ等の学校行事を通して、生徒の主体性を高めるとともに、豊かな心を育む。他人との関わり合いを通して、自らを振り返りながら、日常生活に活かしていけるようにする。

【生徒会活動】生徒の自主性を重んじた企画・運営に努め、生徒の主体性を高める。

【部活動】集団への帰属意識を深め、よりよい人間関係を育てる。

## 公民科

### 公共

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 生徒指導

・自律的生活態度を確立させる。
・交通ルールの遵守とマナーの向上に努める。
・集会・HR・授業など多くの場で、多様な形態で心の教育を行うことにより豊かでたくましい人間性を育てる。

## 家庭との連携

・家庭と連携し、生徒の心の内面に届く指導に努める。
・PTAと協力して「進路セミナー」を開催し、生徒の視野を広げる。
・PTA広報誌「樟の木」を発行したりし、ホームページを活用したりして、教育活動への理解を深めてもらえるよう努める。

## 地域社会との連携

・SDGs活動で地域の小中学校との交流や土木研究所、JICA筑波などと連携する。

・探Q活動での筑波大学院生による外部指導員との交流を通して、筑波大学との高大連携の充実を図る。

・探Q活動での東京大学宇野ゼミとの連携を通して充実を図る。